

佐高

スーパー グローバル ハイスクール

SGH通信

No. 6 (平成28年 5月19日発行)

Welcome to Sano Junior High School! from Lancaster



イラスト：長濱美玲さん

2016年5月12日(木)、佐野市の姉妹都市である**ランカスター市**(アメリカ合衆国、ペンシルベニア州)の**中学生10名が来校**しました。彼らは、5月10日～16日までの7日間、附属中生や佐高生の家にホームステイしながら、市内の名所巡りや日本文化の体験などを行い、その一環として、本校での一日体験に参加しました。

当日は、朝、ホームステイしている家の生徒といっしょに登校し、同じクラスで本校の授業に参加しました。家庭科の授業では、ミシンの使い方を体験したり、数理探究の授業では、牛乳パックを使った「電気パン」を作り、電流のはたらきについて学んだりしていました。

放課後は、会議室で**SGHクラブ**の中学生の有志(10名)と交流会を行いました。まず、附属中生から英語による学校の紹介や歓迎のあいさつなどがあり、その後、生徒達による**ゲーム**が行われました。「**じゃんけんトレイン**」は、音楽が止まったら近くの者同士がじゃんけんをし、負けたら相手の後ろにつながるといった単純なゲームですが、勝ち負けに一喜一憂し、大きな盛り上がりを見せました。ランカスターの中学生は最後に、**サンキュースピーチ**をしてくれました。その後、部活動見学などを行い、予定の時間をオーバーしても、交流は続いていました。



←(左) SGHクラブによる学校の紹介



←(右) ランカスターの中学生によるサンキュースピーチ



↑「じゃんけんトレインゲーム」ですっかり仲良し↑

＜交流会に参加したSGHクラブの中学生の感想より＞

中3-1 荒井真優 さん

- ・外国人と話すことで、自分の英語力やコミュニケーション力を確かめることができた。英語の授業の「スモールトーク」を今までより重視していきたいと思った。また、単語をたくさん覚えて、会話する内容をより発展させたい。
- ・日本に関する知識をもっと身につけて外国人に紹介できるようになりたい。
- ・ランカスターの中学生と一緒に部活で楽器を演奏してみて、音楽はやはり世界共通で人を楽しませるものなんだと思った。

中3-3 佐藤萌笑 さん

- ・相手が英語で何を言っているのかは分かったが、自分の言葉で返すことができなかった。もっとたくさんの英語の表現方法や単語などを学びたいと改めて思った。
- ・国や言語、文化が違っていても、ゲームなどを通してつながることができて楽しかった。彼らの学校には「卓球部」がないそうだが、みんな楽しそうに見ていたのが印象的だった。もっとふれあう時間が欲しかった。

中3-3 田中千春 さん

- ・ネイティブな会話を聞き、日本語にはない英語独特のアクセントや発音を知ることができた。
- ・何といっているか分からない時には、簡単な文章に変えてくれたり、ゆっくり話してくれたりするなど、伝えようとする気持ちを強く感じた。

中3-3 松澤あさひ さん

- ・交流会では、私たちが考えたゲームで一緒に笑いあうことができた。「私たちのつたない言葉でも通じ合えるのか」と感動した。
- ・しかし、部活見学ツアーでは、言いたいことが上手く言えず、しどろもどろになってしまったり、沈黙してしまうことが多かった。
- ・英単語、文法、会話力の不足を改めて思い知った。生の英語に触れることで、英語への意欲が更にかき立てられた。

中3-3 須藤彩 さん

- ・今回のランカスターの中学生との交流を通して、英語で会話をする事の難しさを感じた。会話のスピードがとても速く、聞き取るだけで精一杯になってしまった。
- ・もっと生の英語に触れ、英語でたくさん話し、普通に会話ができるようにしたいと思った。

中3-3 前嶋舞 さん

- ・実際に話してみると、語い力のなさを実感した。文法や単語が頭に浮かんでこず、自信をもって口に出すことができなかった。
- ・しかし、じゃんけんトレインは、すごく盛り上がった。住んでいる国や言葉は違っていても、一緒に楽しみ、笑い合うことはできる、そう強く思った。

(2016年5月14日、下野新聞より)

米ランカスター市の中学生

佐野高付中生と交流

生け花や茶道も体験

【佐野】市と姉妹都市を結ぶ米国ペンシルベニア州ランカスター市の中学生と、佐野高付属中の生徒との交流会が12日、同校で開かれた。

市内のホストファミリーに分散しホームステイしたランカスター市の中学生らは13日、田中正造の生家や市内の名所巡り、生け花や茶道を体験し日本文化を満喫した。

ランカスター市の生徒は10日に17人が来日。12日は同校の通学区域にホームステイしている10人が授業を受けた後、交流会に参加。同校SGH（スーパークロバーハイスクール）クラブ員の10人が学校を紹介した後、ゲームなどを行い交流を深めた。

クラブ員の3年安生温人さん（14）は「よつこて、佐高へ楽しんでください」と英語であいさつ。学校の規模や人数、SGHの活動などを紹介後、「じゃんけんトレインゲーム」を行っ



ゲームを楽しむランカスター市と佐野高付属中の生徒たち

た。

ゲームの勝ち負けに「喜ぶ中」だった中学生たち。ランカ

「一憂し、すぐに打ち解けた。タ市のロサウラ・ソリアノさん（14）は「一日楽しかった。ゲームもとても面白かった」と笑顔を見せた。

一行は14日に東京観光し、16日に帰国する予定。（亀井勝）



今回、ランカスターから17名の中学生が来日しました。そのうち、10名の生徒を佐高附中および佐高の生徒の御家庭でホームステイをさせていただきました。大変お世話になりました。